

# 第1回 ジェンダー主流化委員会 開催

2024年11月5日(火) 14:00～16:00 会場(ミーティングスペースAP東京八重洲)&オンライン 開催

今年度の活動進捗状況と今後の活動の方向性について報告・議論を行いました。



▲塩澤座長(アサヒビール株式会社取締役会長)



▲会場の様子



▲萩原 なつ子 様  
(独立行政法人国立女性教育会館 理事長)

## 独立行政法人国立女性教育会館 萩原 なつ子 理事長 講演 『ジェンダー平等に向けた課題』

ジェンダー不平等の背景には、アンコンシャスバイアスや価値観、制度、慣習などのジェンダー規範などがある。これらの差別や偏見は家庭や教育、メディアなど様々な場面で無意識・無自覚のうちに刷り込まれるため、これらのバイアスの低減が必要。人生の4つのワーク(家庭・有給・学習・ギフト)を性差なく、偏らずそれぞれの人生に取り入れていくことが肝要。最後に、性差なく自ら持つ力を平等に発揮できる社会を実現するために共に頑張りましょう、とエールをいただきました。

### 事務局より報告・提案

#### 【24年度活動進捗報告】

- 企業分科会による問題の洗い出し
  - ・トップを巻き込んだ個社課題への提案・提言
  - ・外部の巻き込みが必要な社会的問題解決視点
- 論点整理からの各分野インプット
  - ・有識者面談や講演、好事例取材 実施

#### 【24年度活動について提案】

- 経済、生活分野を中心にした活動
  - ・経済・生活・政治行政・教育の4分野で取り組む
  - ・上記のうち、経済・生活分野を最優先として活動する
- 第2回委員会までの取組計画
  - ・委員会意見を反映した取組立案

### 出席者ご意見 ※抜粋

- ・あらゆる年代に染みついているバイアスの勉強会は、幅広い年齢層を対象にしてほしい。
- ・マジョリティとマイノリティをどうフラットにしていくか、という視点で進めるとLGBTQ+も包含できる。
- ・ゲーム性を持たせた研修会は面白い。概要とゲーム性を掛け合わせたプログラムが良いと思う。
- ・無償ケアワークを筆頭に企業では難しい課題解決は、生団連の強みを活かし共に解決したい。

### 【事務局所感】

本日頂いた多くの示唆について、事務局内で整理し、生団連の強みを活かせるかたちで今後の活動に反映してしていきたい。